

令和8年度習志野市ガス事業会計予算の概要

1. 事業の概要

- (1) ガス購入量 (45 MJ) 57,742 千m³ (対前年度比 1.8 %)
- (2) ガス販売量 (45 MJ) 57,380 千m³ (対前年度比 0.8 %)

2. 収益的収支

- (1) 事業収益 8,344,600千円 (対前年度比 3.8%減 △328,000千円)
- ① 営業収益 7,136,491千円 (対前年度比 5.6%減 △423,809千円)
ガス売上 7,123,402千円 (対前年度比 5.6%減 △423,758千円)
・平均原料価格を低く想定したことによるガス売上の減少により減
 - ② 営業雑収益 859,296千円 (対前年度比 0.4%増 +3,396千円)
・受注工事収益の増加により増
 - ③ 営業外収益 348,812千円 (対前年度比 42.1%増 +103,412千円)
・電気・ガス料金負担軽減支援事業補助金(23,840千円)などによる増
- (2) 事業費用 8,135,400千円 (対前年度比 4.0%減 △338,700千円)
- ① 営業費用 7,079,959千円 (対前年度比 4.8%減 △357,941千円)
・原料価格を低く想定したことによる購入ガス費などの減少により減
 - ② 営業雑費用 814,442千円 (対前年度比 1.0%増 +7,942千円)
・器具販売原価の増加により増
 - ③ 営業外費用 185,998千円 (対前年度比 6.5%増 +11,298千円)
・消費税及び地方消費税などの増加により増

◎ 消費税等控除後の損益 68,600 千円 (対前年度比 +25,900千円)

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 事業収益 (消費税等含む)	8,344,600	8,672,600	△ 328,000	△ 3.8
2. 事業費用 (消費税等含む)	8,135,400	8,474,100	△ 338,700	△ 4.0
1. 事業収益 (消費税等含まず)	7,600,900	7,890,600	△ 289,700	△ 3.7
2. 事業費用 (消費税等含まず)	7,532,300	7,847,900	△ 315,600	△ 4.0
当年度純損益	68,600	42,700	25,900	60.7

3. 資本的収支

- (1) 資本的収入 46,300千円 (対前年度比 78.1%減 △165,200千円)
・工事負担金などの減少により減
- (2) 資本的支出 2,653,700千円 (対前年度比 12.3%減 △373,900千円)
・ガス本支管の新設工事及び電気設備工事が減少したことによる建設改良費の減少により減

主要な建設改良事業

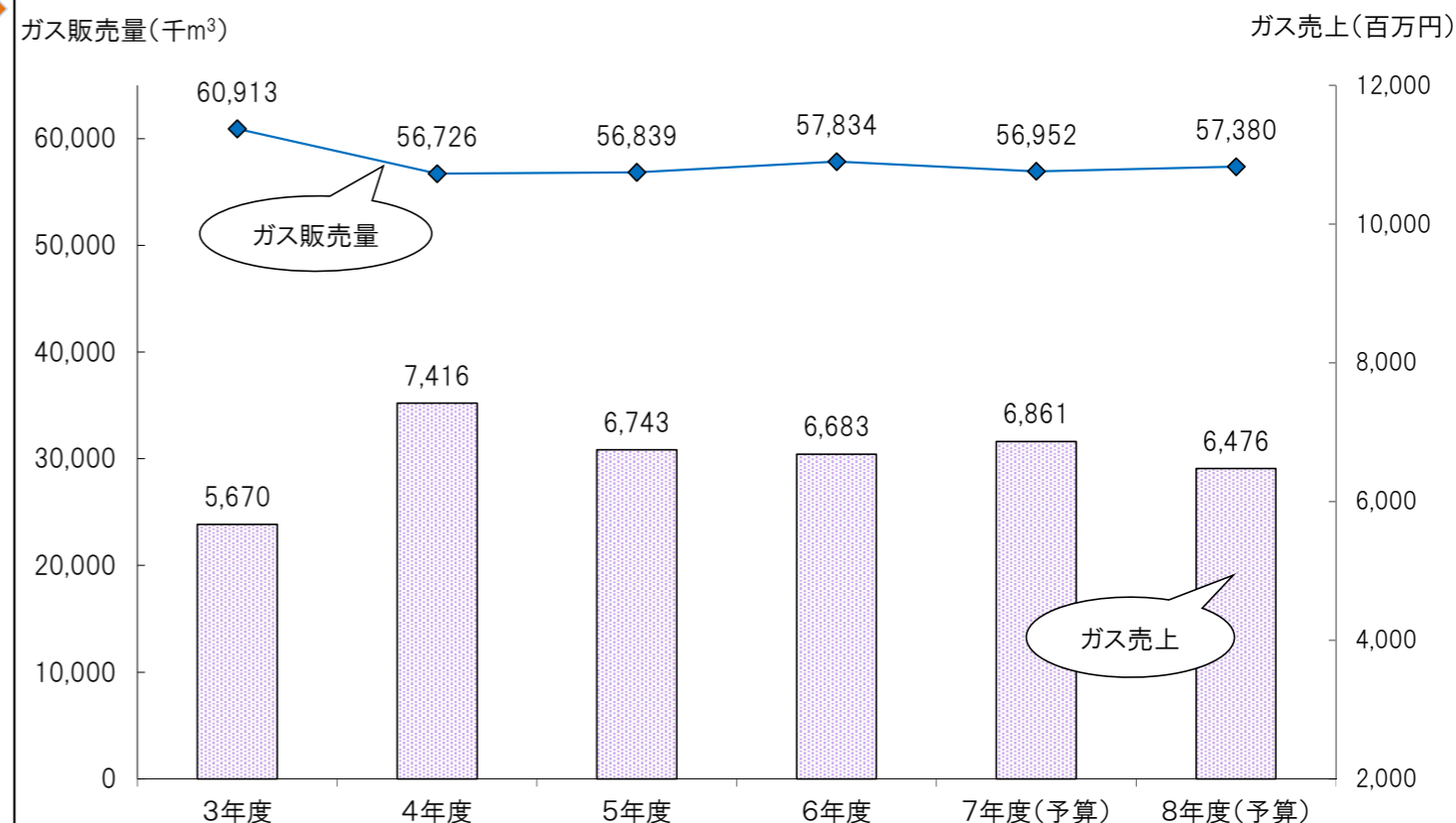
- ① ガス本支管工事 6,300 m 1,089,621千円
(前年度 7,200 m 1,166,400千円)
※令和8年度末 ガス導管耐震化率 95.3 % (令和7年度末 94.8 %)
- ② 企業局舎更新事業 (令和8年度 19,718千円)

差引不足額 2,607,400千円は、自己財源などで補てん。

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 資本的収入(消費税等含む)	46,300	211,500	△ 165,200	△ 78.1
2. 資本的支出(消費税等含む)	2,653,700	3,027,600	△ 373,900	△ 12.3
差引不足額	2,607,400	2,816,100	△ 208,700	—

ガス販売量及びガス売上の推移

(消費税等含まず)



主な業務内容・建設改良事業

- ・鷲沼特定土地区画整理事業ガス低圧本支管新設工事 359,945千円
鷲沼特定土地区画整理事業区域内へガスを供給するためのガス管を整備する事業
- ・緊急遮断弁設置工事 24,200千円
緊急時に遠隔操作によりガス整圧器からのガス供給を停止するための装置を設置する事業
- ・整圧器遠隔遮断装置取付工事 47,300千円
災害時に遠隔操作によりガス整圧器からのガス供給を停止するための装置を設置する事業
ガス供給を停止する範囲を限定することにより、復旧にかかる日数や費用を軽減させることができる
- ・企業局舎更新事業 19,718千円(3会計合計38,102千円)
企業局舎更新のため、デザインビルド事業者選定アドバイザー業務委託等を実施
- ・企業局舎更新事業(デザインビルド事業費) 2,111,496千円(3会計合計4,191,000千円)
設計施工一括発注方式による企業局舎更新に着手(令和8年度から令和12年度の債務負担行為を設定)

令和8年度習志野市水道事業会計予算の概要

1. 事業の概要

(1) 水源	11,174 千m ³ (対前年度比 △0.5%)
① 受水量	6,680 千m ³ (対前年度比 0.0%)
② 地下水量	4,494 千m ³ (対前年度比 △1.2%)
(2) 有収水量	10,935 千m ³ (対前年度比 △0.5%)

2. 収益的収支

- (1) 事業収益 2,737,400千円 (対前年度比 2.4%増 +64,000千円)
- ① 営業収益 2,101,606千円 (対前年度比 4.4%減 △95,694千円)
 - 給水収益 2,089,312千円 (対前年度比 4.3%減 △93,858千円)
 - ・国の臨時交付金(県分118,580千円)を活用した水道料金減免による給水収益の減少などにより減
 - ② 営業外収益 635,793千円 (対前年度比 35.1%増 +165,193千円)
 - ・国の臨時交付金(県分129,580千円)による増
- (2) 事業費用 2,515,000千円 (対前年度比 4.2%増 +100,800千円)
- ① 営業費用 2,426,828千円 (対前年度比 4.1%増 +96,328千円)
 - ・委託料などの増加により増
 - ② 営業外費用 69,471千円 (対前年度比 6.9%増 +4,471千円)
 - ・支払利息の増加により増

◎ 消費税等控除後の損益 169,200 千円 (対前年度比 △36,400千円)

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 事業収益 (消費税等含む)	2,737,400	2,673,400	64,000	2.4
2. 事業費用 (消費税等含む)	2,515,000	2,414,200	100,800	4.2
1. 事業収益 (消費税等含まず)	2,545,300	2,472,100	73,200	3.0
2. 事業費用 (消費税等含まず)	2,376,100	2,266,500	109,600	4.8
当年度純損益	169,200	205,600	△36,400	△17.7

3. 資本的収支

- (1) 資本的収入 353,800千円 (対前年度比 73.8%減 △995,600千円)
- ・企業債の借入や工事負担金などの減少により減
- (2) 資本的支出 1,120,100千円 (対前年度比 27.3%減 △420,500千円)
- ・水道本支管の整備による建設改良費などの減少により減

主要な建設改良事業

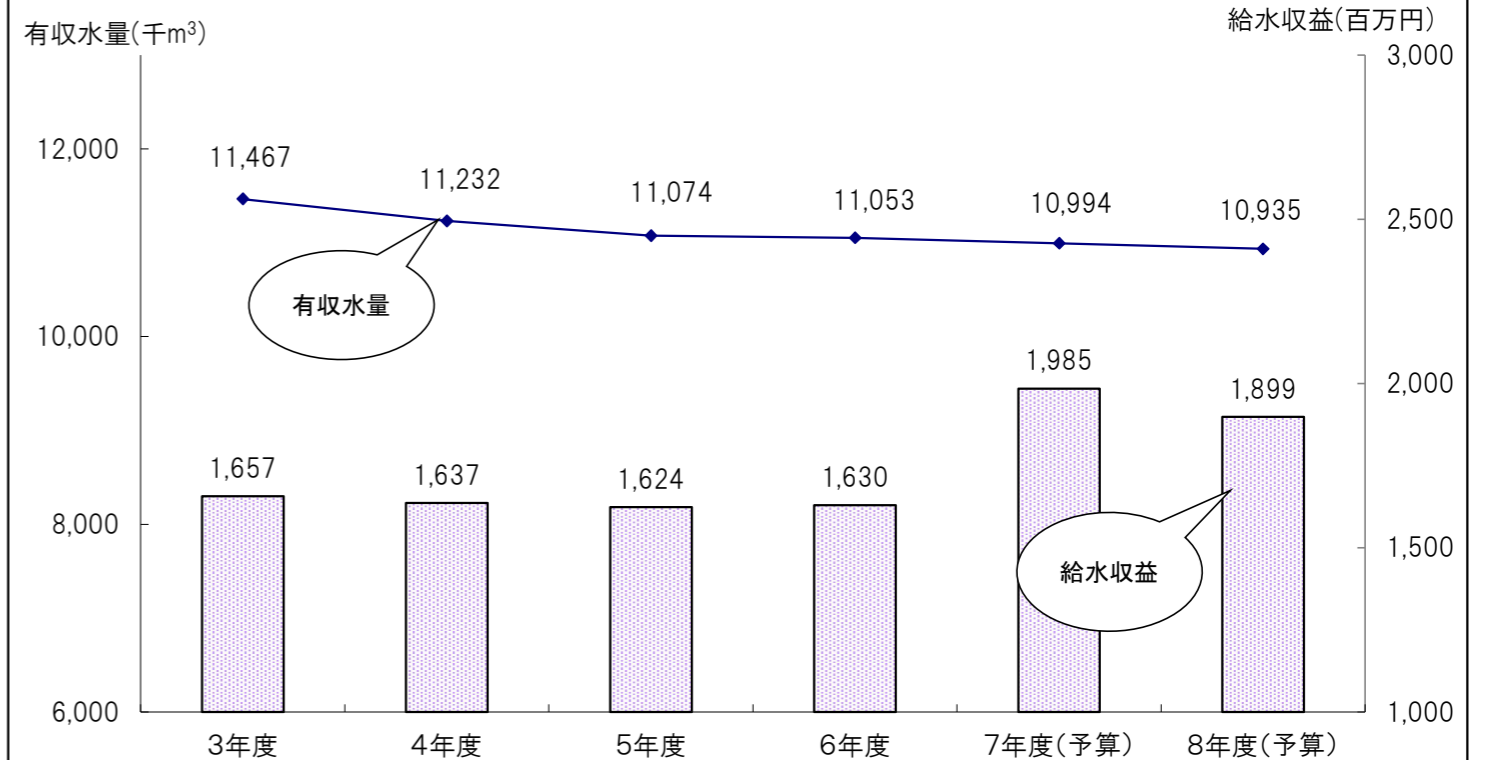
- ① 水道本支管工事 2,400 m 735,724千円
(前年度 2,700 m 1,116,750千円)
- ※令和8年度末 基幹管路の耐震適合率 62.8% (令和7年度末 62.4%)
- ② 企業局舎更新事業 (令和8年度 8,965千円)

差引不足額 766,300千円は、自己財源などで補てん。

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 資本的収入(消費税等含む)	353,800	1,349,400	△995,600	△73.8
2. 資本的支出(消費税等含む)	1,120,100	1,540,600	△420,500	△27.3
差引不足額	766,300	191,200	575,100	-

有収水量及び給水収益(料金収入)の推移

(消費税等含まず)



主な業務内容・建設改良事業

- ・水道管更新計画策定業務委託 24,398千円
既存の各種計画内容を整理・反映させた上で、より計画的に水道管路を更新するため、中長期的な管路更新計画を策定する
- ・着水井等劣化診断調査業務委託 28,050千円
損傷、劣化等の診断を行い、修繕・更新計画の見直しを行う
- ・配水本管更新事業(3工区) 継続費847,000千円(令和8年度年割額40,084千円)
第4給水場北側から第四中学校北側までの配水本管を更新し、耐震化を図る
- ・第2給水場浄水施設更新工事基本設計業務委託 継続費118,580千円(令和8年度年割額45,540千円)
老朽化した浄水施設の更新に向けた基本設計業務
第2給水場浄水施設の更新にあわせ第1給水場浄水施設を廃止するダウンサイジングを実施
- ・第3給水場撤去工事設計業務委託 継続費27,280千円(令和8年度年割額19,096千円)
第3給水場配水池、配水ポンプ等の撤去に向けた設計業務
- ・企業局舎更新事業 8,965千円(3会計合計38,102千円)
企業局舎更新のため、デザインビルド事業者選定アドバイザー業務委託等を実施
- ・企業局舎更新事業(デザインビルド事業費) 959,771千円(3会計合計4,191,000千円)
設計施工一括発注方式による企業局舎更新に着手(令和8年度から令和12年度の債務負担行為を設定)

令和8年度習志野市下水道事業会計予算の概要

1. 事業の概要

- (1) 津田沼浄化センター処理水量 23,501 千m³ (対前年度比 △ 3.4 %)
- (2) 有収水量 17,418 千m³ (対前年度比 △ 0.6 %)

2. 収益的収支

- (1) 事業収益 7,002,300千円 (対前年度比 3.6%増 +245,200千円)
 - ① 営業収益 4,474,330千円 (対前年度比 1.5%減 △66,276千円)
 - 下水道使用料 2,671,326千円 (対前年度比 6.0%減 △172,018千円)
 - 国の臨時交付金(市分350,880千円)を活用した基本料金の減免拡大に伴う下水道使用料の減少により減
 - 雨水処理負担金 1,384,360千円 (対前年度比 6.6%増 +85,635千円)
 - 鷺沼放流幹線建設工事完成に伴う減価償却費相当分繰入などの増加により増
 - ② 営業外収益 2,527,969千円 (対前年度比 14.6%増 +322,475千円)
 - 国の臨時交付金(市分357,685千円)の活用拡大に伴う他会計負担金や鷺沼放流幹線建設工事完成に伴う長期前受金戻入などの増加により増
- (2) 事業費用 6,902,000千円 (対前年度比 5.3%増 +347,000千円)
 - ① 営業費用 6,480,056千円 (対前年度比 5.1%増 +316,298千円)
 - 修繕費や鷺沼放流幹線建設工事完成に伴う減価償却費などの増加により増
 - ② 営業外費用 360,943千円 (対前年度比 9.3%増 +30,701千円)
 - 支払利息の増加により増

◎ 消費税等控除後の損益 8,400 千円 (対前年度比 △100,168千円)
 ※一般会計繰入金 1,867,246千円 (対前年度比 21.6%増 +331,982千円)
 ・維持管理費及び国の臨時交付金(市分)の活用拡大に伴う他会計負担金などの増加により増

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 事業収益(消費税等含む)	7,002,300	6,757,100	245,200	3.6
2. 事業費用(消費税等含む)	6,902,000	6,555,000	347,000	5.3
1. 事業収益(消費税等含まず)	6,720,500	6,460,400	260,100	4.0
2. 事業費用(消費税等含まず)	6,712,100	6,351,832	360,268	5.7
当年度純損益	8,400	108,568	△ 100,168	△ 92.3

3. 資本的収支

- (1) 資本的収入 1,639,700千円 (対前年度比 35.4%減 △899,300千円)
 - 企業債の借入や国県補助金などの減少により減
- (2) 資本的支出 3,505,100千円 (対前年度比 21.1%減 △934,900千円)
 - 令和7年度で津田沼浄化センター改築工事委託が完了し処理場改良費が減少したことなどにより減

主要な建設改良事業

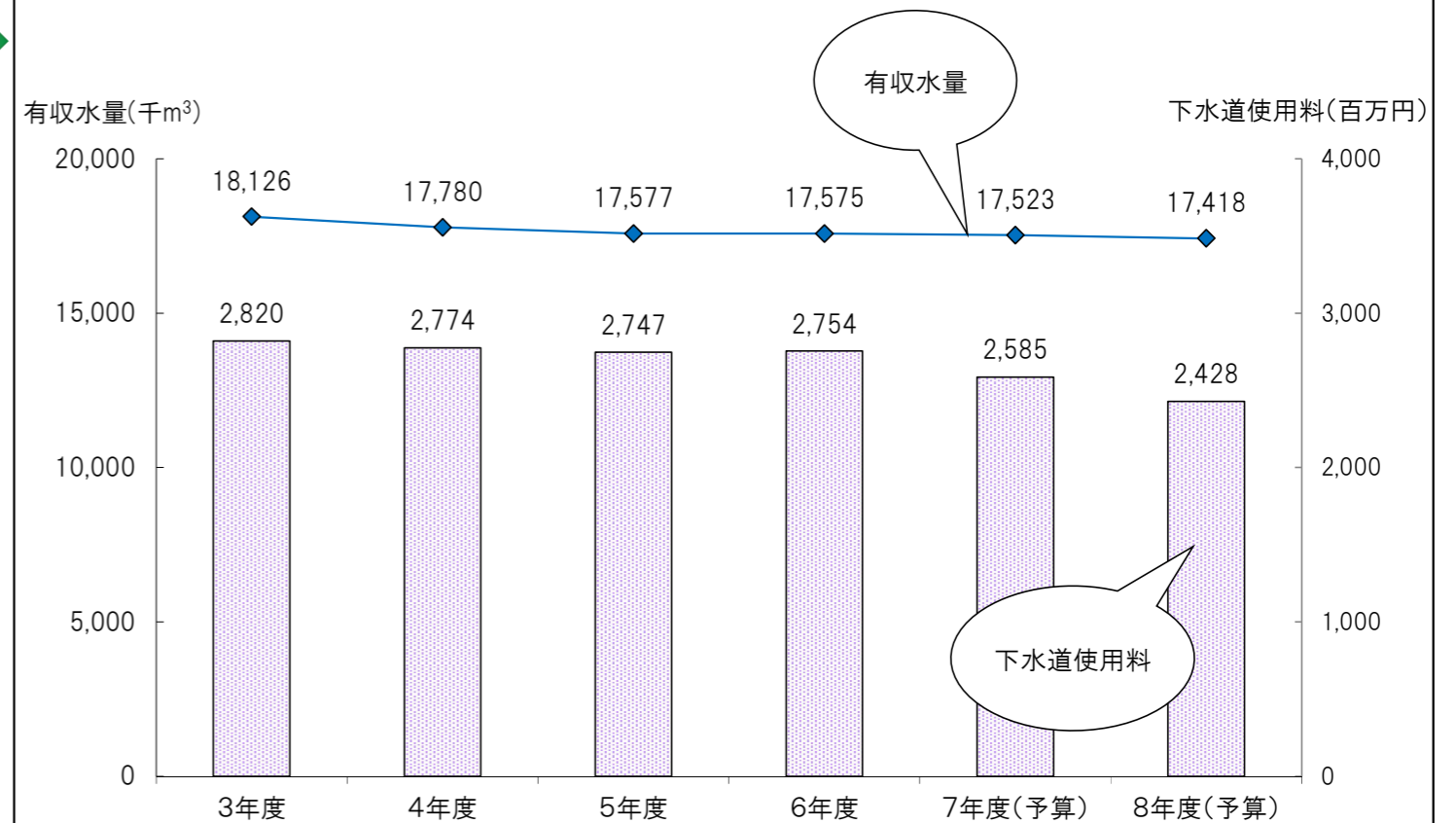
- ① 管渠整備 825 m 703,200千円
 (前年度 1,113 m 728,000千円)
 ※令和8年度末 重要な幹線の耐震化率 95.8% (令和7年度末 95.8%)
- ② 企業局舎更新事業 (令和8年度 9,419千円)

差引不足額 1,865,400千円は、自己財源などで補てん。

	令和8年度予算額 (A) 千円	令和7年度予算額 (B) 千円	対前年度増減 (A-B) 千円	対前年度比 %
1. 資本的収入(消費税等含む)	1,639,700	2,539,000	△ 899,300	△ 35.4
2. 資本的支出(消費税等含む)	3,505,100	4,440,000	△ 934,900	△ 21.1
差引不足額	1,865,400	1,901,000	△ 35,600	—

有収水量及び下水道使用料の推移

(消費税等含まず)



主な業務内容・建設改良事業

- ・管路施設調査点検業務委託 30,000千円
 管路施設の老朽化状況を把握するため、調査点検を実施
- ・津田沼浄化センター耐震診断業務委託 60,000千円
- ・秋津汚水中継ポンプ場、袖ヶ浦汚水中継ポンプ場耐震診断業務委託 40,000千円
 施設の耐震診断を実施し、今後の耐震化、更新計画に反映
- ・津田沼浄化センター等包括的維持管理業務委託(第3期)アドバイザー委託
 継続費7,073千円(令和8年度年割額3,927千円)
 第3期の包括的維持管理業務委託に向けた仕様書等の作成、事業費の算定及び業務内容の見直し等を実施
- ・鷺沼汚水幹線下水道工事 457,677千円
- ・鷺沼5丁目下水道工事 306,460千円
 鷺沼特定土地区画整理事業区域内からの排水を接続させるための下水道管を整備する事業
- ・企業局舎更新事業 9,419千円(3会計合計38,102千円)
 企業局舎更新のため、デザインビルド事業者選定アドバイザー業務委託等を実施
- ・企業局舎更新事業(デザインビルド事業費) 1,119,733千円(3会計合計4,191,000千円)
 設計施工一括発注方式による企業局舎更新に着手(令和8年度から令和12年度の債務負担行為を設定)